

自動試験機能付
P型自動火災報知システム
地図式

自動試験機能を装備

地図式 進 Ⅲ[®]

Automatic Testing Function Fire Alarm System



NOHMI

自動試験機能を装備したP型システム 進Ⅱに、新たに地図式をラインアップ。

感知器常時監視などの自動試験機能と、火災時に部屋番号や感知器のアドレスを表示できる機能を装備した進Ⅱに、見やすい地図表示で警報箇所が分かりやすい地図式進Ⅱを新たにラインアップしました。

「建物の安全性を高める」「維持管理しやすい」「既存の配線を使用できリニューアルも容易」な、新世代のP型です。

50～70回線 Type



10～40回線 Type



FAPJ104S-B13-10LC
FCSJ104S-B13-20～40LC

FCSJ104S-B43-50～70LC

自動試験機能付
P型自動火災報知システム

地図式 進Ⅱ

Automatic Testing Function Fire Alarm System

回線数を70回線まで拡充

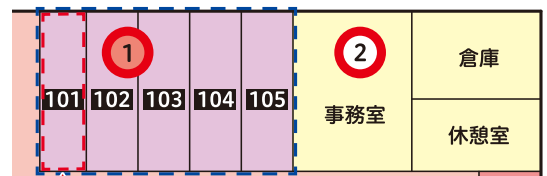
回線数は10回線ごとで10～70回線まで拡充しました(7機種)。従来の30回線(1機種)のみだった地図式進PⅡから大幅に拡充しました。

- 10回線はFAPタイプ(火災受信機)、20～70回線はFCSタイプ(複合火災受信機)

部屋番号表示機能を標準装備

火災時に部屋番号がデジタル表示されるため迅速な対応ができます。学校や福祉施設の職員など、不慣れな方が対応する場合などに適しています。地図表示上では警戒区域ごとのエリアを地区灯で表示し、その詳細(部屋番号)についてはデジタル表示で確認できます。

警戒区域 (回線単位) 部屋番号区域 (部屋単位)



(注意) 地図シートの部屋番号表示は点灯・点滅しません。 地図シートの表示

POINT

部屋番号表示により、警戒区域より詳細に出火場所が特定可能

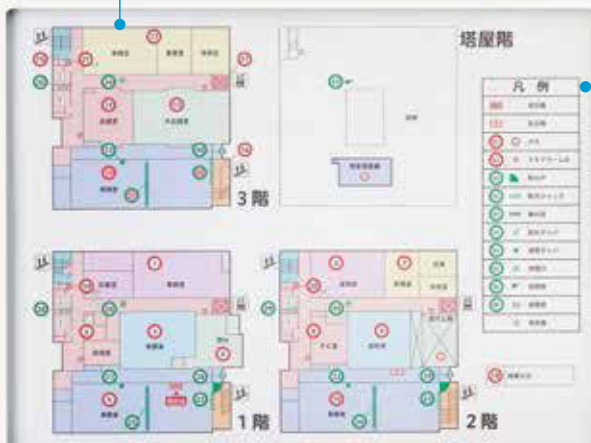
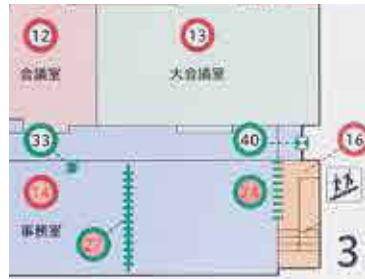


受信機の盤面表示

- デジタル表示の部屋番号5桁は数字とA～Gの英字により自由に組み合わせて盤面操作により設定が可能。

見やすい地図表示

- 警戒表示は、地図シート上の警戒区域図と地区灯で表示します。
- 火災警戒区域色を従来の4色から12色に増やし、見やすい地図表示としました。



地図表示は A2、A3サイズの2タイプ

地図表示は、A3サイズ相当に加え、50~70回線用として、A2サイズ相当を新たに設けました。これにより、回線数が多くても地図表示が見やすくなるようにしています。

- 写真はA3サイズ

コンパクト化

キャビネットの小型化を図りました。
(全機種壁掛型)

その他の特長

自動試験機能付きで、より高機能なシステムに

一般Pシステム

進化

地図式進_Ⅱシステム

安全性の向上

常時監視

感知器の機能を、専用の試験器を使い、半年に1回の点検でチェックする必要があります。



専用の試験器不要。
P-AT感知器の機能を24時間365日、常時チェックしているなど安全性が大幅に向上します。

感知器
取りはずし
検出機能

感知器が取りはずされても検出できません。



P-AT感知器が取りはずされると、受信機が検出し警報を発します。

システムを正常に維持するため一般のP型システムは、感知器の機能を半年に一回定期点検をしています。地図式進_ⅡシステムはP-AT感知器を24時間365日常時監視・性能チェックしているなど、安全性の大幅な向上を実現します。

最適な
維持管理

半年に1回の機器点検では専用の試験器を使い感知器の加熱・加煙試験が必要です。

また、1年に1回の総合点検では煙感知器を取りはずし、専用の試験器による感度試験が必要です。さらに、高天井の点検時に足場の設置など時間と手間がかかります。



自動試験機能を装備しているため、人手に頼っていた加熱・加煙試験と煙感知器の感度試験が免除されます。

- 自動試験機能を採用された場合でも、外観点検など、省略できない点検項目もあります。
- P-AT感知器のみ。

自動試験機能付
システムに
リニューアル
するには…

これまで、高機能のR型システムにリニューアルするしかなく、しかも、R型システムにするには、既存の配線を耐熱電線にする必要があります。

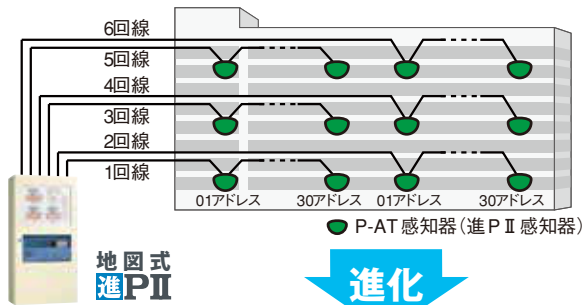
地図式進_Ⅱシステムなら、受信機と感知器を取り換えるだけでOK。既存の配線を耐熱電線にするコストが発生しません。また、工期の短縮にもなります。

- 既存の配線状況によっては見直しが必要な場合があります。

●P-AT感知器はP型自動試験機能付感知器の略称です。

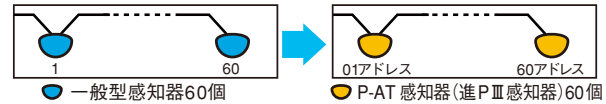
1回線にP-AT感知器(進PⅢ感知器※1)が60個接続可能

●P-AT感知器はP型自動試験機能付感知器の略称です。



- 回線数が少ない受信機で対応できます。
左記の例では、従来6回線が必要だったものが3回線で対応可能。
- リニューアルに最適です。
・回線数を増やさずに、より安心な自動試験機能付へ。
・既存の配線を耐熱電線に引き換えることなく自動試験機能付へ。

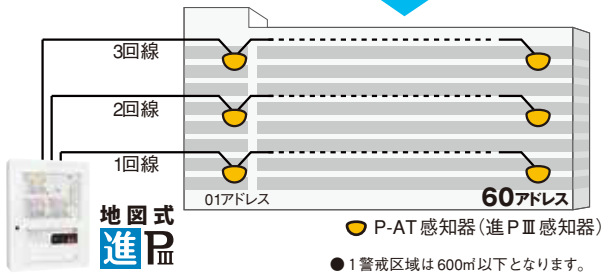
[例]一般型感知器60個をP-AT感知器(進PⅢ感知器)60個にリニューアル1回線



- 受信機1台当たりのP-AT感知器(進PⅢ感知器)が約4,200個接続可能。



※2：終端感知器とは、1回線に接続されるP-AT感知器(進PⅢ感知器)が31個以上で、末端のP-AT感知器(進PⅢ感知器)をアドレス60に設定した感知器です。(終端抵抗不要)



※1：進PⅢ感知器とは、FDKJ119/219/319シリーズ、FDLJ113/913シリーズ、FDPJ209シリーズ、FDKJ224/324、FDCJ003の感知器です。

部屋番号表示機が接続可能(最大3台まで)

表示機が設置されている病院のナースステーションやホテルのフロント、管理室など火災時に部屋番号が表示されるため迅速な対応ができます。

●表示機接続図 注)必要に応じて電話線などを追加

■10回線の場合※4



火災・複合火災受信機 表示機(部屋番号表示付) FIPJ104シリーズ

■20回線以上の場合



火災・複合火災受信機 P型インターフェイス盤 FXZJ004シリーズ 表示機(部屋番号表示付) FIPJ104シリーズ

※4：標準の移報接点(25点)で表示機移報が不足する場合には、P型インターフェイス盤での対応となります。

P型インターフェイス盤を接続可能

表示機の追加や他設備への移報接点の追加など増設が可能です。また、受信機との接続はRS485伝送のため、少配線で離れた場所に設置が可能です。



P型インターフェイス盤

感知器接続パターン

パターン 1

1回線 感知器31個以上で、末端に進PⅢ感知器(終端感知器)を接続し、アドレス(AD)を60に設定する場合、終端感知器を含めて感知器は60個接続できます。



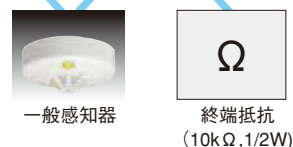
パターン 2

2回線 感知器31個以上で、末端に発信機を接続する場合、アドレス付終端器を除いて進PⅢ感知器は59個接続できます。



パターン 3

3回線 感知器30個以下で、末端に終端抵抗を接続する場合、感知器は30個まで接続できます。



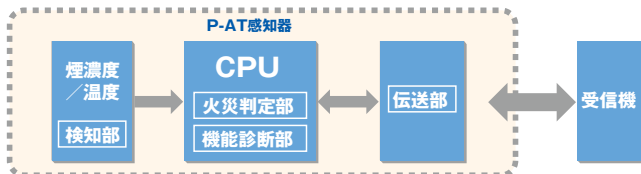
地図式進PⅢ受信機

n回線

自動試験機能を装備し効率的な管理が可能

P-AT感知器、地区音響装置の配線、予備電源接続などの状態を常時監視。異常がある場合には、受信機に異常表示されます。併せて、週間試験も自動で実施。一般のP型に比べ、建物の安全性を大幅に高めました。また、この機能を装備することにより、下記の定期点検項目、試験項目が免除されます。加熱・加煙試験などの、これまで人手に頼っていた点検や試験が不要になるため、効率的な維持管理ができます。

出力値監視方式システム



常時監視

- 感知器監視
 - 出力値監視方式による P-AT 感知器の自己診断
- 電源監視
 - 受信機電源、予備電源接続の監視
- 回路監視
 - 受信機 → 感知器の断線監視、地区音響装置の断線・短絡の監視

週間試験

- 自動試験
 - 感知器試験 (P-AT 感知器の試験)
 - 予備電源試験
- 定期受信回路試験
 - 定期的 (自動試験後) に火災受信回路を試験

●上記以外、必要時には、火災試験 (火災表示などの試験) をマニュアルで行うことができます。

定期点検時に免除される点検項目

- 機器点検時 (6ヶ月ごと)
 - 予備電源・非常電源
 - 端子電圧・切替装置・充電装置・結線接続
 - 受信機
 - 継電器・火災表示等・結線接続・回路導通
 - 感知器^{※1}
 - 加熱試験・加煙試験
- 総合点検時 (1年ごと)^{※1}
 - 煙感知器感度試験・総合作動試験

工事完了時に免除される試験項目

- 配線：送り配線試験^{※1}
- 受信機：火災表示、回路導通、同時作動、予備電源、非常電源試験
- 感知器：作動試験 (加熱・加煙試験)^{※1}

●自動試験機能を採用された場合でも、外観の点検など、省略できない点検項目もあります。
^{※1}：P-AT感知器のみ

盤面操作により各種設定が可能

連動マトリクスの設定、空き回線処理、回線別蓄積解除など、すべての設定が盤面操作により行えるので、施工時はもちろん、施工後の変更も容易です。

盤面データ設定の作業性向上

十字スイッチ、テンキースwitchの装備やデジタル表示の活用により、盤面データ設定の作業性が向上しました。また、設定用の専用シートが不要になりました。DBTOOL (専用ソフト内蔵パソコン) を用いて設定することも可能です。

感知器接続数の確認が可能

P-AT 感知器の回線ごとの接続数、または全回線の総数を確認できます。

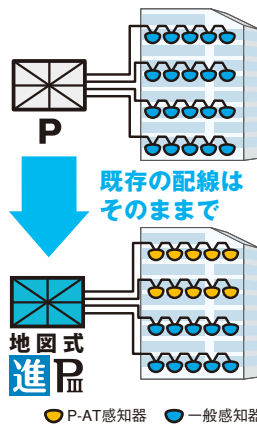
音声警報機能を装備

盤面の表示や警報音に加え、音声によって火災発生や異常をお知らせする、音声警報機能を搭載。より迅速な対処を可能にします。

履歴リスト機能を装備

火災などの警報や受信機での操作結果を記憶する「通常履歴」と自動試験の結果を記憶する「自動試験履歴」があり、それぞれ最大 10,000 件を記憶することができます。

リニューアル時のイニシャルコストをセーブ



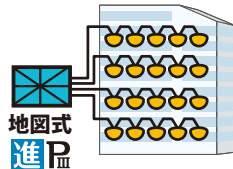
自動試験機能付システムにリニューアルする場合、これまではR型システムを選択するしかなく、その導入に当たっては、感知器の配線を耐熱電線にする必要がありました。地図式進品システムでは、既存の配線をそのまま使用できるため、耐熱電線に引き換えるコストが発生せず、工期の短縮も可能。受信機と感知器を交換するだけで、より高性能な自動試験機能付システムにグレードアップできます。

●既存の配線状況によっては見直しが必要な場合があります。

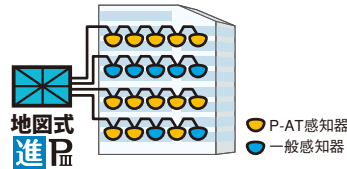
多彩なシステムを構築可能

システムをすべて自動試験機能対応とすることをおすすめしますが、特定のエリアだけ、特定の感知器 (ポイント) だけを対象としたシステムも自在に構築可能。建物の用途や規模に応じた運用ができます。

オール対応



エリア・ポイント対応



地絡検出機能を装備

システムを正常に維持するため感知器配線の絶縁を常時監視する地絡検出機能を装備しています。

復帰対応を標準で装備 (FCSJのみ)

防排煙復帰対応を標準装備しました。データベース設定により、1回線から復帰制御の設定が可能です。注)1つの復帰付防排煙端末につき、防排煙回路2回線 (起動、復帰各1回線) 使用します。

地図式進PⅢ FAPJ104S, FCSJ104S シリーズ仕様

種 別	P型1級火災受信機 (蓄積式及び自動試験機能付)	P型1級複合火災受信機(蓄積式及び自動試験機能付)
型 名	FAPJ104S-B13-10LC	FCSJ104S-B13-20～40LC / FCSJ104S-B43-50～70LC
プリンタ	なし(メンテナンスプリンタは接続可)	
部屋番号表示・ 部屋番号表示機接続	あり	
回線数	10	20, 30, 40, 50, 60, 70
構 造	露出、壁掛型	
国検型式番号	受第25～5号	
自主評定マーク使用許可番号	—	A-13-3
主電源	AC100V±10%、50 / 60Hz	
予備電源	密閉型蓄電池内蔵、トリクル充電方式 DC24V	
	1.2A h	20～30L:3.5A h, 40～50L:4Ah, 60～70L:6Ah
回路電圧	・ 感知器、表示機 DC24V(定電圧電源) ・ 蓄電池充電回路 DC48V(半波整流電源)	・ マイコン、IC、表示回路 DC5V(定電圧電源) ・ 地区音響装置、自動閉鎖装置(FCSJシリーズのみ) DC24V(全波整流電源) ・ 表示灯回路 AC24V
消費電力	警戒時：最大約40VA 作動時：最大約100VA	警戒時：最大約60VA 作動時：最大約210VA
感知器・ 発信機接続機種	◎P-AT感知器(光電1種、光電2種、光電3種、光電2・3種(2信号)、差動2種、定温特種、定温1種、炎) ◎一般型感知器(差動、定温、炎、光電、光電分離、イオン) ◎一般型発信機	
機 器 接 続 個 数	回線ごとの P-A-T感知器数 および、終端機器	◎30個(通番)、終端抵抗10kΩ、1/2W(炎感知器は20個、光電2・3種(2信号)は8個、小形・湯気環境強化型・その他進P/Ⅱシリーズ感知器は30個、終端抵抗に限る) ◎59個(通番) ^{*2} 、アドレス付終端器FZEJ001(アドレス60番固定) ◎60個(通番) ^{*2} 、終端感知器(アドレス60番に設定)
	受信機の P-A-T感知器数	◎終端抵抗時：30個×回線数 ◎アドレス付終端器時：59個 ^{*2} ×回線数 ◎終端感知器時：60個 ^{*2} ×回線数
	地区音響装置	DC24V, 10mA：30個 DC24V, 10mA：45個(20～50L)、60個(60, 70L)
	表示灯	14個(30V, 2W ランプ)、40個(24V, 21mA LED)、56個(24V, 15mA LED)
	表示機	3台(表示機移報(In, B+)は標準なし。移報接点Fn(標準25点 ^{*1})+P型インターフェイス盤)で対応
防排煙回線数	—	10(20L)、20(30, 40L)、30(50, 60L)、40(70L)
防排煙電源	—	2A
常時通電灯電源	—	150mA
公称蓄積時間	60秒(熱感知器：10秒、煙感知器：60秒)	
主音響装置	音声警報、後続再鳴動方式	
試験・点検機能	◎火災試験：1回線ごとに手動で火災表示・警報・連動機能を試験 (P-AT感知器はアドレス指定可(火災手動試験)) ◎総合試験：盤面表示灯の全点灯および、1回線から順次火災受信回路を試験 ◎予備電源試験：予備電源電圧を試験	◎自動試験：P-AT感知器の火災検出機能試験および、予備電源試験を1週間に1回自動的に実施 ◎定期受信回路試験：定期的(自動試験後)に火災受信回路を試験 ◎試験復旧：火災受信回路の自己保持解除 ◎自動復旧：感知器発報後、約8秒後に自動復旧
異常警報機能	●感知器配線断線 ●予備電源異常 ●回路電圧異常 ●ヒューズ断線 ●伝送異常 ●非常放送設備連動地区音響停止回路の断線・短絡警報 ●スピーカ脱落 ●メモリ異常 ●DB異常 ●定期受信回路試験異常 ●CPU異常 ●自動試験異常(実行不能、強制終了、予備電源、感知器) ●感知器無応答・試験異常 ●火災手動試験異常 ●自動試験履歴の容量不足 ●地区音響回線の断線・短絡 ●地絡異常	
デジタル表示(5桁)	蓄積中・火災・異常回線(アドレス)、部屋番号、アドレス選択、自動試験異常回線・アドレス、蓄電池電圧、異常コード、P-AT感知器接続数、履歴リスト(通常、自動試験)、設定データ	
地図部および 地区表示部	地図シート式(材質：フィルム(透過式)) [サイズ] A3相当(W390×H290)(10～40L)、A2相当(W390×H590)(50～70L) [地区灯色] 赤色(用途は地区灯周囲の緑取り色で識別(火災：赤色、防排煙：緑色))	
環境条件	使用温度範囲：0℃～40℃ 使用湿度範囲：20～85%(RH) (結露しないこと)	
外部配線抵抗	往復50Ω以下	
外形寸法	W530×H700×D180 mm(10～40L)、W530×H1150×D180(50～70L)	
主 材	鋼板 t1.6(本体)、t1.6(扉)	
仕 上	焼付塗装ノーマホホワイト(NW)(マンセルN8.7半ツヤ近似色)	
質 量	約29kg(10～40L)、約43kg(50～70L)	
付属品	工事用予備品、取扱説明書、蓄電池、送受話器、予備品箱、施工説明書、データベース設定説明書、機能設定表、遮断スイッチ設定表、部屋番号設定表	

P型インターフェイス盤仕様

型 名	FXZJ004-E2-20	FXZJ004-E2-40	FXZJ004-E2-60	FXZJ004-A2-80	FXZJ004-A2-100
移報接点数	20	40	60	80	100
接点構成	無電圧a接点、5回線につき1コモン端子、接点容量：DC24V, 1A/1回線				
接続可能受信機	多回線タイプ(FAPJ104シリーズ、FCSJ104シリーズ)				
最大接続数	受信機1台につき100点(SOU基板×5枚まで)				
伝送線	RS485 / 複数台接続の場合は送り配線(分岐配線不可)とし、総延長距離は1.2km				
電源線	配線抵抗：18Ω以下(往復) 最遠端距離：φ0.9mmの場合片道約0.3km、φ1.2mmの場合片道約0.5km				
環境条件	使用温度範囲：0℃～40℃ 使用湿度範囲：20～85% RH (結露なきこと)				
外形寸法	W360×H500×D105 mm			W450×H600×D105 mm	
質 量	約10kg			約14kg	
主 材	鋼板 t1.6(本体)、t1.2(扉)				
仕 上	焼付塗装ノーマホホワイト(NW)(マンセルN8.7半ツヤ近似色)				

*1：標準移報接点のうち20点(F6～25)を5回線コモン単位のジャンパーピン設定により、地区音響有電圧出力または無電圧a接点に選択します。なお、P型インターフェイス盤に内蔵するSOU-104基板は地区音響有電圧出力にはできません(無電圧a接点専用)。
*2：31個以上接続の場合は進PⅢシリーズ感知器に限ります。

(窓式) P型1級表示機仕様

型名	FIPJ103-S-5,10L	FIPJ103-H2-15~30L	FIPJ103-E2-40~60L	FIPJ103-A2-70~100L
回線数	5, 10	15, 20, 30	40, 50, 60	70, 80, 90, 100
キャビサイズ	W250×H250×D80 mm	W250×H380×D80 mm	W360×H500×D105 mm	W450×H600×D105 mm
構造	露出、壁掛型			
地区灯	赤色発光ダイオード (DC24V,2mA)			
主音響装置	電子ブザー内蔵 (DC24V,15mA)			
環境条件	使用温度範囲：0~40℃ 使用湿度範囲：20~85% (RH) (結露しないこと)			
接続可能受信機	当社製N-16回路および、S-13回路以降のP型1級受信機			
主材	鋼板 t1.2			鋼板 t1.6 (本体)、t1.2 (扉)
仕上	焼付塗装ノーマルホワイト (NW) (マンセルN8.7半ツヤ近似色)			
重量	約2.5kg	約3.3kg	約6.5kg	約11kg

(窓式) P型1級表示機 (部屋番号表示付)仕様

型名	FIPJ104-H2-10~20L	FIPJ104-E2-30~40L	FIPJ104-A2-50~100L
回線数	10, 15, 20	30, 40	50, 60, 70, 80, 90, 100
キャビサイズ	W250×H380×D80 mm	W360×H500×D105 mm	W450×H600×D105 mm
構造	露出、壁掛型		
地区灯	赤色発光ダイオード (DC24V,2mA)		
部屋番号表示	デジタル表示5桁、1窓		
主音響装置	電子ブザー内蔵 (DC24V,15mA)		
環境条件	使用温度範囲：0~40℃ 使用湿度範囲：20~85% (RH) (結露しないこと)		
接続可能受信機	・進PII FAPJ/FCSJ103シリーズ (H付タイプ) ・進PIII FAPJ/FCSJ104シリーズ		
主材	鋼板 t1.2		鋼板 t1.6 (本体)、t1.2 (扉)
仕上	焼付塗装ノーマルホワイト (NW) (マンセルN8.7半ツヤ近似色)		
重量	約4kg	約7kg	約13kg

P-AT (P型自動試験機能付) 光電式スポット型感知器

型名	感度	構造	国検型式番号	備考
FDKJ119-R	1種	露出型	感第24~13号	
FDKJ219-R	2種	露出型	感第24~14号	
FDKJ319-R	3種	露出型	感第24~15号	
FDKJ219-R-X	2種	露出型	感第24~14号	室外表示灯回路付
FDKJ319-R-X	3種	露出型	感第24~15号	室外表示灯回路付
FDKJ204-RY-X	2種	露出型	感第14~25~2号	室外表示灯回路付、湯気環境強化型
FDKJ803-R-23	2,3種	露出型	感第17~32号	2信号型
FDKJ119-U	1種	埋込型	感第24~13号	
FDKJ219-U	2種	埋込型	感第24~14号	
FDKJ319-U	3種	埋込型	感第24~15号	
FDKJ219-U-X	2種	埋込型	感第24~14号	室外表示灯回路付
FDKJ319-U-X	3種	埋込型	感第24~15号	室外表示灯回路付
FDKJ204-UY-X	2種	埋込型	感第14~25~2号	室外表示灯回路付、湯気環境強化型
FDKJ224-U-X	2種	埋込型	感第26~2号	小形、室外表示灯回路付
FDKJ324-U-X	3種	埋込型	感第26~3号	小形、室外表示灯回路付
FDKJ803-U-23	2,3種	埋込型	感第17~32号	2信号型

P-AT (P型自動試験機能付) 差動式スポット型感知器

型名	感度	構造	国検型式番号	備考
FDPJ209-R	2種	露出型	感第24~19号	
FDPJ209-R-X	2種	露出型	感第24~19号	室外表示灯回路付
FDPJ209-DW-X	2種	露出型	感第24~20号	防水型、室外表示灯回路付
FDPJ209-U	2種	埋込型	感第24~19号	
FDPJ209-U-X	2種	埋込型	感第24~19号	室外表示灯回路付

P-AT (P型自動試験機能付) 定温式スポット型感知器

型名	感度	構造	国検型式番号	備考
FDLJ913-R-65	特種	露出型	感第24~16号	
FDLJ913-DW-65	特種	露出型	感第24~17号	防水型
FDLJ913-DW-X65	特種	露出型	感第24~17号	防水型、室外表示灯回路付
FDLJ913-U-65	特種	埋込型	感第24~16号	
FDLJ113-DW-75	1種	露出型	感第24~18号	防水型
FDLJ113-DW-X75	1種	露出型	感第24~18号	防水型、室外表示灯回路付

P-AT (P型自動試験機能付) 赤外線式スポット型感知器

型名	公称監視距離	構造	国検型式番号	備考
FDCJ003-R-X	13m~20m	露出型	感第26~6号	室外表示灯回路付

●進Pと進Rは、能美防災株式会社の登録商標です。

⚠ 安全に関するご注意

- 安全のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用および維持管理してください。
- この製品は消防法に定められた「自動火災報知設備」の構成機器です。他の用途には使用しないでください。
- この製品の取り付け・調整・メンテナンスは、法によって定められた有資格者が必ず行ってください。
- 安全のため、設置の前に「施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
- この製品は、法によって定められた点検を行ってください。

- この製品の外觀および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- カタログと実際の製品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。
- 大切な防災システムのメンテナンスは多数の有資格者を有する当社CS部門または当社代理店・特約店にご用命ください。
- このカタログの記載内容は2015年5月現在のものです。

お問い合わせは…

NOHMI 能美防災株式会社

本社	〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3	TEL (03)3265-0211	
支社	北海道 (011)746-6911	東北 (022)221-2695	新潟 (025)243-8121
	茨城 (029)225-2600	千葉 (043)266-0303	北関東 (048)669-2255
	横浜 (045)682-4700	静岡 (054)247-3211	中部 (052)915-2411
	金沢 (076)252-6211	大阪 (06)6330-8661	京都 (075)694-1192
	岡山 (086)244-4222	九州 (092)712-1560	
営業所	旭川 (0166)35-7824	青森 (017)729-0532	盛岡 (019)645-0552
	郡山 (024)947-1194	福島 (024)528-4195	羽田 (03)5757-9393
	杉並 (03)3306-0451	城東 (03)3626-2461	五反田 (03)3779-9737
	宇都宮 (028)637-4317	群馬 (027)328-1567	埼玉西 (049)247-4640
	沼津 (055)923-9669	浜松 (053)473-3422	三重 (059)226-9860
	福井 (0776)21-0056	神戸 (078)334-3581	四国 (087)868-6811
	長崎 (095)845-0135	熊本 (096)360-1051	大分 (097)543-2778
	鹿児島 (099)253-8196	沖縄 (098)862-4297	
工場	三鷹 (0422)44-5141	又三マ (048)588-1531	

URL <http://www.nohmi.co.jp/>